

# アンテナバラン 組立部品セット DB-50-V2

50Ω 不平衡 1:1 平衡 1.8MHz~50MHz

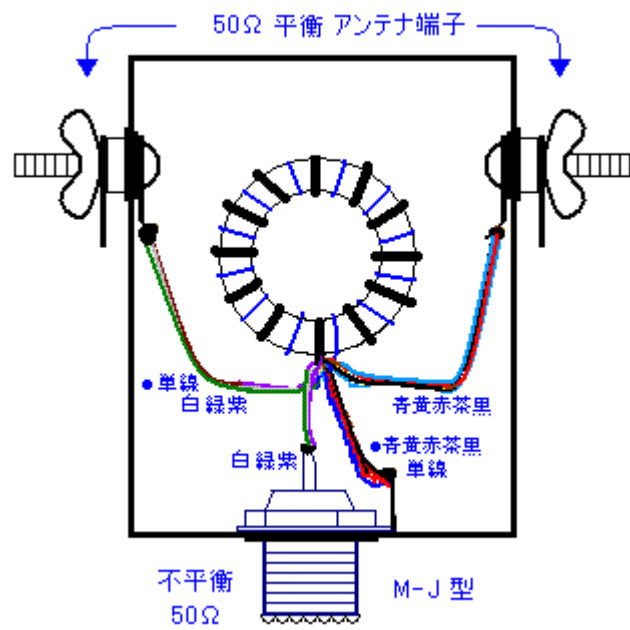
許容入力電力：連続 60W / CW SSB 130W

サイズ50W×75H×30Dmm(突起物を除く) 重量 約 120g

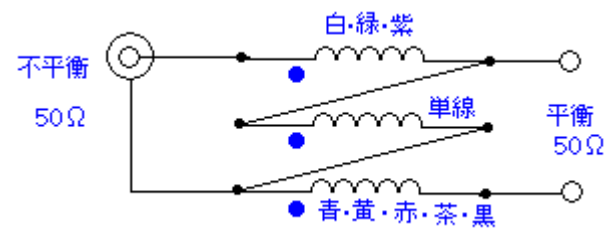
## 50Ω 1:1 バランの作り方

- 0.4mm 4P(8本組線)を、コアに、12回巻きます
- 0.4mm単線被膜線を4P被膜線(8本組線)の間に同様に12回巻きます
- その被膜線4P(8本組線)の両端末とも、白・緑・紫線3本組、青・黄・赤・茶・黒線5本組を結線ねじり合わせます
- 巻き始めと、巻き終わり、端末配線の通り配線し、半田付けします
- プラボックスにボルトナットM-BR(M型座)を取り付ける
- 巻いて作ったコアを、構成図のように、ボックス内に収めて結線半田付けします
- 接着剤などで、端子等をかためて、フタをして完成です

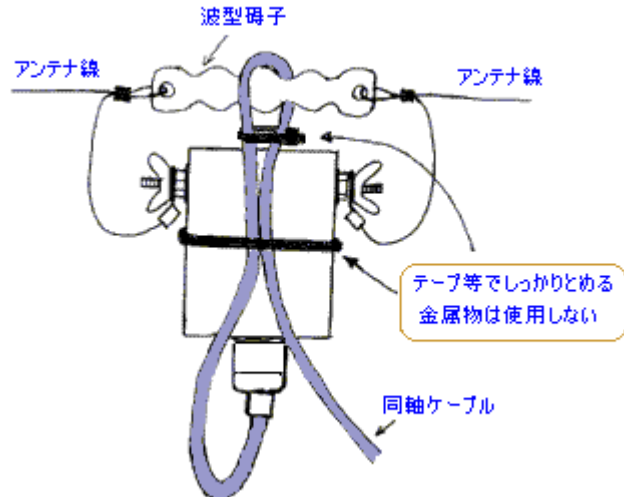
### 構成図



### 回路図



### バラン取付方法



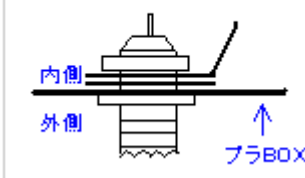
### 組立完成例



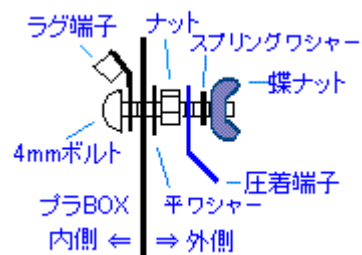
### 部品表

フェライトコア FT-82-43---	1
0.4mm 4P被膜線40cm---	1
0.4mm単線被膜線40cm---	1
M型接栓座 M-BR---	1
ステンボルトナットワッシャー 蝶ナット、ラグ端子---	2組
プラボックス---	1
波型端子---	1
結束バンド---	2

### 同軸接栓座MBRの取付方



### アンテナ端子取付方法

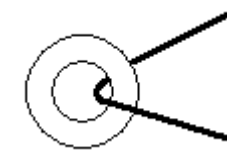


### コアの巻き方

1、0.4mm 4P被膜線(8本組線)を半分ほどで折り返します



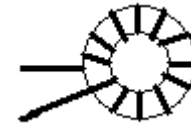
2、4P被膜線(8本組線)をコアに約半分の長さで通します



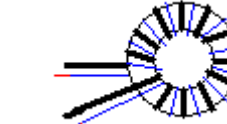
3、半分の4P被膜線(8本組線)を6回巻きます(コア内通過数)



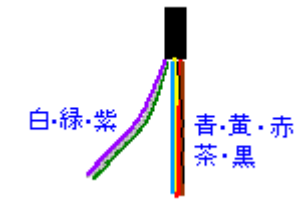
4、もう半分の4P被膜線を図のように同様に6回巻きます(コア内通過数)合計12回巻きます



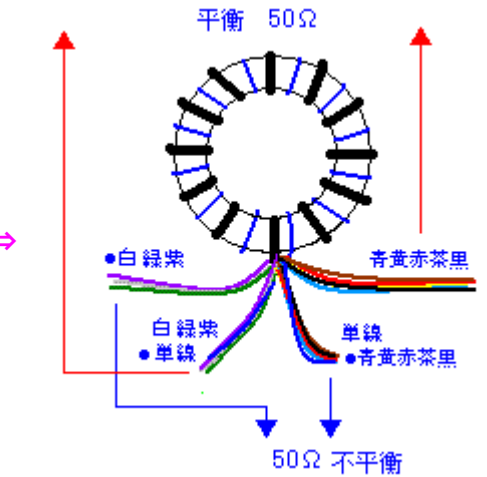
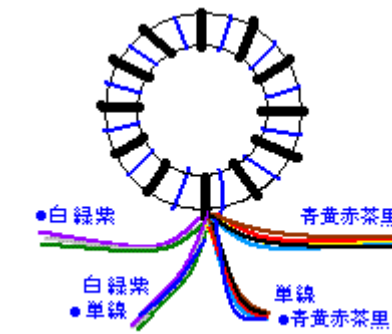
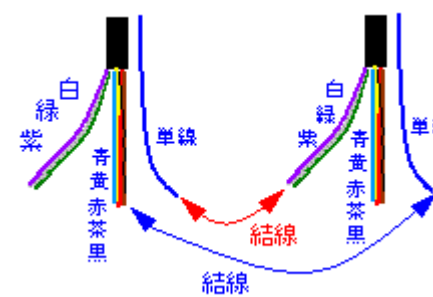
5、単線を追加巻く  
0.4mm単線被膜線を図のように4P被膜線(8本組線)の間に同様に12回巻きます



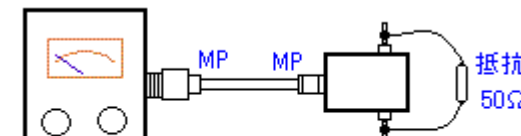
6、端末処理  
コアに巻いた4P被膜線の両端末とも、下記のように結線ねじり合わせます  
白・緑・紫線 3本組  
青・黄・赤・茶・黒 5本組  
を結線し、ねじり合わせます



7、端末配線  
巻き始め、巻き終わりを、配線結線し、ねじり合わせます



### SWR測定方法



アンテナ SWR計  
アナライザー など

バラン

抵抗は短く接続します  
(コアに直に接続した方が測定誤差は少ない)

### コア完成例



株式会社 大進無線

〒410-0022 沼津市大岡 2223-14  
TEL 055-925-4961 FAX 055-925-4962

URL <http://www.ddd-daishin.co.jp/>  
E-mail [info@ddd-daishin.co.jp](mailto:info@ddd-daishin.co.jp)